

# 保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)

令和5年8月1日

No.576



発行人 森田 信司 編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

http://www.niji-tumi.net/



絵具遊びは  
楽しいな

河南町  
石川こども園

## 近畿ブロック保育研究集会(兵庫大会)

### こどもの権利と育ちを保障する社会の実現を

7月12、13日の2日間にわたり、令和5年度近畿ブロック保育研究集会が神戸ポートピアホテルで開催されました。

本大会のテーマは「すべてのこどもの権利と育ちを保障していく社会の実現」。約4年ぶりに、コロナ禍以前の参集形式による開催となりました。

同大会には近畿ブロック各保育組織会員から1千人を超える申し込みがあり、これからの子どもたちへの保育と未来を語りあい、お互いに盛りあげました。

開会式は、兵庫県保育協会の伊達恵一会長より地元歓迎のあいさつ・開会宣言ではじまりました。その後、来賓祝辞では、全国保育協議会の奥村尚三(なほぞう)会長の祝辞(代読)、全国保育士会の笠置英恵副会長から祝辞をちょうだいし、斎藤元彦兵庫県知事からも大会の



近畿ブロック保育協議会  
森田信司会長

盛会を祈念いただきました。

続いて、主催者である近畿ブロック保育協議会を代表して森田信司会長が登壇し、「コロナ前の大会形式に戻っての開催を心から喜びたい。この大会での学びを明日への保育の力へ変えられるよう、参加された皆様とこの学びの時間を分かち合いたい。先般、いまだ類をみない大雨・豪雨などの災害が全国各地で発生しているが、この災害に負けず力をあわせることができ。近畿はひとつである」とあいさつされました。

基調講演(行政報告)では、こども家庭庁育成局成育基盤企画課の馬場耕一郎氏より、保育政策とこども家庭庁の役割について報告がありました。こども家庭庁発足の経緯や我が国がめざす「こどもまんなか社会の実現」に向けて、保育政策と取り組むべく課題、最新の中央情勢の動向について話されました。

続いて2面「第2分科会研究発表」をご覧ください。

(事務局)





汐の宮こども園 九星巧氏と澤和美氏

第2分科会の研究発表のテーマは「配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて」。大阪府河内長野市の汐の宮こども園の主任保育士相澤和美氏、保育士の九星巧氏は「子どもの育ちを保障する 配慮を必要とする子どもや家庭への支援

」と題して発表しました。本研究の目的は、支援の必要な園児を含むクラスで一人ひとりの個性が生きる支援を検討すること、保護者と連携して有効な方法を探ることです。研究対象となった令和4年度5歳児クラスは(園児17人、担任保育士は3人主担任1人、加配保育士2人) 情緒不安定な園児が多く、0〜2歳の

頃から子ども同士の噛みつきや引っかき等のトラブルが多く見られました。座って保育士の話を聞くことが苦手で、椅子からの離席も目立ちクラスが落ち着かず、支援が必要な園児はクラスの半数以上にのぼる状態でした。特に苦慮していたのは、他児や保育士に手を出したり暴言を吐いたりしてクラスの活動に入れない加配児Aくんの対応です。またまりのあるクラスをつく

近畿ブロック保育研究集会 第2分科会

配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

省点がありました。Aくんを特別扱いしたため、他の子どもがかまってほしくて集団としてのまとまりが崩れてしまうことがあったのです。また、保育士がAくんに配慮してAくんの要求に応え続けたため、Aくん「自分が王様で保育士は下である」「問題行動を起こせば、自分の好きな保育士が側に来てくれる」と誤った学習をさせてしまい、Aくんの問題行動はエスカ

ス全体にも良い影響をおよぼすこともわかりました。Aくんの育ちに関する保護者との連携についても間違いがありました。というのも当初、保育士は、保護者にAくんの問題行動をありのままに伝えていなかったのです。しかし、Aくんの問題行動がエスカレートしたため、保護者に、Aくんが問題行動をとっていることを包み隠さず伝え、その原因や理由もていねいに説

くすにはどうすればよいかを話し合いました。この面談は園の思いを保護者に伝え、保護者の思いや家庭での困りごとを把握する良い機会となりました。第2分科会助言者の香川大学教育学部准教授の松井剛太氏は、「支援が必要な子どもがクラスの半数以上いる場合は、保育者に発想の転換が求められる」と述べ、今までの保育のやり方の見直しを提言されました。そして「いろいろな支援が必要な子どもがいてたいへん」と考えるのではなく、「みんな違ってみんないい」という多様性を大切に、一人ひとりの子どもの特性をプラスに受け止めることが重要と話されました。

「朱夏」の時期は現代の日本人の25〜60歳くらいまでの時期を表しています。ギリギリと輝く太陽のように仕事や恋愛に自分を燃焼させる時期で、社会的責任を果たすため、困難にも向きに生きる人間の活動期、フル回転の時期といわれています。



るには、Aくんが問題行動を起こさずに安定して過ごすことが大切と考え、まずAくんの情緒面の分析を行いました。その結果、Aくんが問題行動を起こすのは、疲れてイライラしている時や苦手な活動があり不安な時、失敗した時、好きな保育士にかまってほしい時だとわかりました。そこで、保育士がAくんの側で不安を取り除くことで問題行動を抑制しようと思いました。

しかし、この対応には反

レートしていききました。対応の間違いに気づき、軌道修正を試みましたが、保育士とAくんととの関係の修復は困難でした。Aくんへの支援を通して気付いたのは、支援が必要な子どもの問題行動ばかりに注目するのではなく、その子の得意なことを見つけ、てほめるような関わり方をすることが大切ということ

です。また、その子の自己肯定感を高め、やる気や自信を引き出すことが、クラ

明するようになりました。すると、保護者も家庭でAくんと向き合うようになり、関係機関と連携できるようになりました。就学相談では、Aくんがどうすれば落ち着けるのかを就学先の小学校の先生と話し合いました。また、Aくんが通っている療育施設には、Aくんの対応の仕方を教えていただきました。さらに保護者、園、療育施設の三者面談では、Aくんがこども園で落ち着いて過

た。こつした言葉を知ると、暑い日が続くのは嫌なことではないように思えます。エネルギーを燃やして子どもたちのためにがんばりましょう。静かな秋の訪れを待ちながら…。

た。こつした言葉を知ると、暑い日が続くのは嫌なことではないように思えます。エネルギーを燃やして子どもたちのためにがんばりましょう。静かな秋の訪れを待ちながら…。

た。こつした言葉を知ると、暑い日が続くのは嫌なことではないように思えます。エネルギーを燃やして子どもたちのためにがんばりましょう。静かな秋の訪れを待ちながら…。

た。こつした言葉を知ると、暑い日が続くのは嫌なことではないように思えます。エネルギーを燃やして子どもたちのためにがんばりましょう。静かな秋の訪れを待ちながら…。

た。こつした言葉を知ると、暑い日が続くのは嫌なことではないように思えます。エネルギーを燃やして子どもたちのためにがんばりましょう。静かな秋の訪れを待ちながら…。

みんなが主役！  
明るく楽しくなる  
保育現場の秘訣！



ほめ育シニアコンサルタント  
中園 暁子 氏

## ⑤ 身につけたい「報告・連絡・相談」 (その①)

### ◆あふれかえる情報

現代社会は情報であふれかえています。「仕事もまた、多くの情報であふれているのではないのでしょうか。上司と部下の間でなされる業務進捗、報告や相談、チームでの情報交換、全体での共有事項、保護者への連絡や報告、業者を含む内外からの問い合わせや情報共有に連絡：とあらゆる場面で情報がやり取りされています。方法もメールに電話に來訪、社内システムと多岐にわたり、最近では職員間のチャットシステムなどを導入されているところも増えていると聞きます。

連絡ひとつとっても、どこで言ったか、いつ誰が誰に何を使って伝えたのか、確認するだけでもたいへんな状況といえます。こんな時代だからこそ、今回のテーマ「報告」「連絡」「相談」は重要だと考えています。

その「報」「連」「相」について、基本に立ち返るために、今回のテーマは2回にわたってお伝えします。今月号は、「報告」について

### ◆報告とは？

「報告」とは、依頼された業務の進捗状況や結果などを、担当者が依頼者へ知らせること。

「報」「連」「相」のなかでも、上司と部下など相互間で一番キーになるのが「報告」ではないかと思えます。

保育現場では預かっている子どもと、その保護者の方々の数だけ日々さまざまな変化があるため、多くの情報が生まれます。その情報を「チーム」で共有することで、チーム力は向上しますし、保護者の信頼の獲得につながります。情報がどこかでストップしていると、チーム内で動きに差が出てしまったり、余計な確認が発生したりします。保護者の方は「伝えなのに共有されていない…」と不信感を抱くことでしょうか。

私は「報告」は「思いやり」だと思っています。「報告」は、場合によってはシジュメを作ったり、電話をしたりする必要があるので、手間がかかります。でも、簡潔にわかりやすく目的にあった報告をすれば相手は安心し、その先へ進むこと

ができます。まさしく「思いやり」です。

また、「報告」は「タイミング」も大切です。相手が忙しく動き回っているときに、その動きを止めるようなタイミングで報告すると、良い内容の報告だったとしても喜ばれません。また、報告が遅すぎると、相手をやきもきさせたり相手の不安を大きくさせたりすることもあります。報告をする際は相手の状況と報告の緊急性を思いやり、メールより□頭がいいのか、電話でなく対面がいいのか、その都度、瞬時に判断せねばなりません。

人や内容によってはメールで送った後、「メールで送ったので後で見てください」と一言添えたほうがいいこともあります。これも「思いやり」です。思いやりをもってなされた報告は、「チーム」の力を上げ、相手との信頼関係を強固にすると思います。

時に「報告」は「結果報告」だけをして、「なぜもっと早く言わなかったのか？」「なぜ途中で相談しなかったのか？」などの問題

### ◆「報告」で大切なこと

ある人は「これならいいんじゃないか」「これは問題なし」と思っても、他の人からすると「問題あり」かもしれません。こうした人による「物ごとのとらえ方」の差異をなくすのも「報告」の役割のひとつです。経過の報告や変更修正報告を行って対話しながら情報を共有することで、上司の意見を確認したり、相手の意向を確かめたりできるため、さまざまトラブルを未然に防ぐことができます。

それでも「遅れ」が生じる原因のひとつとして考えられるのは、「上司が怖い」「保護者の反応が怖い」「報告内容が自分のミス」といった、相手に言いにくい不安があるからではないでしょうか。「恐れ・不安」は時間が経てば経つほど増幅するものです。恐れや不安を解消するには「スピード」が大切です。

つまり、その内容が自分でも嫌だなと思うものであればあるほど早めに報告し、次に向けて対話することが一番の解決策なのです。

「報告」は社会人の基本といわれます。その「報告」で大切なことは、内容の正確さやスピード、タイミングに、先述した「思いやり」だと私は思っています。どうすれば相手が喜ぶか、その想像が「思いやり」です。

また、日常の会話で、ちよとした情報をまわりと共有することで、大きな間違いや事故、ひとりよがりの判断によるミスなどを防止できるのではないかと思います。だからこそ普段から対話を重ね、信頼関係を築くことが何より大切だといえるのではないのでしょうか。

人のやることにミスがあるのは仕方ないこと。それを最小限にするのが「報告」の役割です。日常の「コミュニケーション」が報告の質をあげ、仕事の質をあげることにつながるのだと思います。

次号9月号は、  
⑥身につけたい「報告・連絡・相談」(その②)  
をお届けします。





## 吹田市

## 保育士、保護者

## 地域一体の保育を

## 西山田保育園

保育園

**西** 山田保育園は、昭和55年に吹田市山田西に公立の保育園として開園し、令和2年に民営化されました。

子どもの権利条約、児童憲章の理念に基づき、児童が心身ともに健やかに育ち、保護者が安心して預けて働くこと

ができ、地域の子育てを支援できる施設をめざしています。園周辺は自然豊かで、子どもたちは1年を通して積極的に散歩に出かけています。

散歩は足腰を鍛えるだけでなく、自然とふれあったり、友だちと一緒に行くことで待つてあげたり共感しあったりできるほか、交通ルールを守るという社会性も育まれます。

行事においては、行事当日はもちろん、取り組む過程での子どもの成長を大事にしています。コロナ禍ではさまざまな活動が制限されました。

そうした状況でも子どもたちを思い「どのようなかたちなら実施できるか」と試行錯誤を繰り返されてきましたが、

昨年度から制限も緩和され、運動会は全学年一斉に開催することができました。大人が本気で競いあう保育士対保護者のリレーは大いに盛りあがりしました。

「大人が前向きに生きる姿を見せ、子ども・保育士・保護者、さらに地域も一体となって、より良い保育園にし



▲ のびのびと遊べる広い園庭

ていきたい」と園長先生はおっしゃっていました。

(編集委員M・N)

## 東大阪市

## 仏教を基盤に

## 情操教育を重視

## 累徳学園

保育園

## 東

大阪市西部にある累徳学園は、近鉄奈良線河

内小阪駅から徒歩約7分、住宅街のなかに小さな工場などがある、東大阪独特の街並みのなかにあります。近隣には近畿大学や大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学などがあり、学

生が多い地域です。

累徳学園は日露戦争の頃に

天王寺区で開園。大きな戦争による混乱の時代を経て昭和22年、現在の場所に移転で保育事業が始まり、昭和27年には社会福祉法人となりました。平成30年度に



▲ 町工場と住宅の多い地域にある園舎

は、45年前に建てられた二代目園舎の老朽化により、三代

目園舎が建てられました。

保育園の隣には園長が住職を務める寺があります。

累徳とは、お経にある「積功累徳」のことで、修行に励み功徳を積み

重ねることが大切です。

保育理念は仏教保育の情操教育を大切にすること。「いつも明るく、正しく、仲良く」を目標に、毎日子どもたちを笑顔にできるように保育されています。

松、菊、薔薇、桃といった昔ながらのクラス名を用いて、定員100人で運営されています。新園舎になったタイミングでおむつの定額利用なども取り入れ、現代の保育ニーズにこたえていけるよう努力されています。

(編集委員K・M)

## さんぽ

息子に教わった  
育てる難しさ

4月から息子が園の仕事を手伝うようになりました。30歳前で他業種からの転職なので資格も経験もありません。周りの職員が気を遣ってくれる分だけゼロからはではなく、マイナスからのスタートです。

未経験で何もできないとわかっていたのに「こんなことも、あんなこともできないのか」とイライラすることが多くて参りました。

ところが1カ月ほど経って「はっ」としました。「参っているのは息子の方だ」と気づいたので。保育園の子どもや職員には「認めて褒めて意欲を引き出す」を心がけていますが、息子に対してはできていませんでした。大反省です。これからは、まずは認めて、その後に必要なアドバイスなどをしていこうと思います。人を育てることの難しさを改めて感じました。

(私部保育園H・H)